笹竜胆だより

教育目標「自ら考え　互いに助け合い　粘り強くやり抜く生徒」

令和５年度　阿木中学校通信　令和５年 10 月２４日

校　長　細 江 美 和

ホームページでは、生徒の名前は名字のみにしてあります

後期生徒総会より

【生徒会長から方針について説明】

【提案内容について意見交流】

【交流後に各委員長へ質問】

10月20日(金)に後期生徒総会がありました。後期生徒会長の丸山　さんは、話を聞く姿勢の改善、生徒会プロジェクトや『学び合い』の授業の充実、自分で気付いて切り替える力の向上、期限を守った課題提出を重点活動として、生徒会スローガン「自治力」を更に高めていこうと説明をしました。学習委員長の三輪　　さんは「一人も取り残さず、互いに助け合い全員達成できる阿木中」を、図書委員長の加藤　　さんは「様々な本に触れることができる阿木中」を、生活委員長の後藤　　さんは「学校生活やあいさつの質を向上させる阿木中」を、保健給食委員長の五嶋　　さんは「感染症を予防できる阿木中」を公約とし、その詳細を話しました。

前期の生徒総会と違ったのは、阿木中学校での生活の様子が分かってきた1年生からも質問がいくつか出たことです。自分たちが半年間やってきて何が課題なのか、その改善を行うときにどんなことが難しいのか、想像できたからだと思います。2･3年生も含め、質疑応答にたくさんの時間を使いました。中には、重ねての質問もあり、生徒会長も各委員長も、相手に伝わるように言葉を選びながら返答をしていました。

これだけ念入りに質問をし、全員が承認した活動方針です。そのどれも、実行する当事者としての意識をもち、全員で目指していることができていないときには、お互いにそれを伝え合う、時には厳しい『自治力』も必要です。お互いのよさを認め、話し合いを通して考えを深めたり、お互いをカバーしあったりして仲よく学校生活を送ることができることが阿木中学校のよさであり学ぶ集団としての力が付いています。見ていても心地よいです。一方で、期限を守った課題提出や切り替え、さわやかな挨拶など、生徒総会で聞かれたキーワードには、向上心をもって個人で高めていくべきものがたくさんありました。早速、23日（月）から「生徒会プロジェクト」スタートです。お手並み拝見!!

家庭教育委員会主催「給食試食会」を開催

10月20日（金）に給食試食会を行いました。参加者は14名でした。感想を紹介します。

【教室での給食参観】

【栄養教諭の説明】

★中学校の試食会に初めて参加しました。とてもおいしくいただきました。最初は量が思ったよりも多く感じましたが、食べたら普通に食べることができました。栄養のバランスも考えられ、野菜もお肉もたくさん食べられてとてもありがたいことです。給食のありがたみを改めて感じました。調理してくださっている方にも感謝です。

★今日は貴重な体験をありがとうございました。子どもたちが配膳をしている姿も見られて、楽しかったです。給食を実際に食べたのは初めてでしたが、減塩をしているとは思えないほどしっかり味を感じられました。塩味の代わりにごま油やニンニクを使ったりするなど、家庭でも使えそうなこつを教えてもらったので、家でも試してみようと思いました。

認定されました

令和５年度 学校環境衛生活動 優秀活動校

岐阜県薬剤師会学校薬剤師部会様より、下記の基準に適合する学校であると認定され、その証であるシールをいただきました。

【優秀活動校シール発行の基準】

令和５年度学校環境衛生活動調査（500 点満点）の設問のうち、必須項目（285 点満点）を設定し、この必須項目において 90%以上の 257 点以上の点数を取得した学校に対していただけるもの

活躍の紹介

太鼓クラブの活躍　～安岐太鼓～

９月２４日（日）に郡上市で行われた『岐阜県太鼓まつり 日本太鼓ジュニアコンクール岐阜予選会に２・３年生５名が出場し、『龍神乱舞』を演奏しました。

今後は、菓子祭り、岩村城下おかげまつりに出演予定です。また、１１月２０日には、卒業演奏会を実施予定です。

入選おめでとう

中津川市火災予防ポスターコンクール

〇中津川市西消防署長賞：　松尾　　さん　　〇努力賞：　土岐　　さん

税についての作文

〇銀賞　土岐　　さん

題名　納税の意味

皆さんは、「税」が大切だと思いますか？思いませんか？

二〇一九年、消費税が八％から十％に引き上げられたとき、税金の必要性を知らなかったため、なんで高くなったのか、その税金が何に使われているのか、ということに対して疑問をもっていました。しかし、税について勉強したことで、税金の大切さを理解することができました。

子どものころは体調を崩して病院に行っても、医療費がかかりません。これは、なぜでしょう。風邪やケガなどで病院に行くとき、子どもも大人も本来は一万円前後の費用がかかります。しかし、日本では、一万円前後かかる医療費を格安か無料で済ませることができます。病院や薬局が善意で医療サービスを安く提供しているわけではありません。保険料や税金が関係しているのです。医療費については、医科診療医療費が約七割で最も多くを占めており、薬局調整医療費が約二割を占めています。財源については、保険料による負担が約五割、税金による負担が約四割、患者自身による負担は約一割を占めています。日本で一年間に使われる医療費は約四十兆円です。この中には税金もあります。もし、医療や福祉に関係する税金がなくなったら、どうなるでしょうか。お年寄りの方や体の不自由な方などのための施設や保育所の設置、医療機関の整備などが十分に行われず、困ったときに頼る場所がなくなってしまいます。

また、日本の小・中学生は、一人一人に無償で教科書が配られています。それも国民の税金が関係しています。私たちが無償で教科書をもらい、それを使って勉強することができるというのは、あたりまえのようであたりまえではありません。毎日使う教科書だからこそ、大切にしたいと思いました。

このように、税金はたくさんの目的でいろいろなところに使われています。私は、今回の「税」についての学習で、税の大切さを深く知ることができました。私たちが収めた税金は、国民の健康で豊かな生活を実現するために必要で、とても大切なものです。

★学校生活の様子は、毎日のようにホームページを更新し、紹介しています。そちらもご覧ください。